

ステージアップ

Stage Up

主な記事

- ・新しい大正琴の音色を求めて「@絆_雅望(笹子まさえ)」
- ・よい塩梅でつなぐ手打ちうどん「武蔵野手打ちうどん保存普及会 川崎」
- ・特集 公益財団法人 かわさき市民活動センター

詳細・他

◆ 施設めぐり

- ・川崎浮世絵ギャラリー
～斎藤文夫コレクション～
庶民の息づかいが見える 浮世絵の宝庫
- ・県立東高根森林公園
豊かな自然を、より身近に。

◆ 財団からのお知らせ

- ・生涯学習プラザが
リニューアルしました ほか



「Colors かわさき展」は、作者に障がいがあるか・ないかということにとらわれず、一つ一つの作品の魅力をダイレクトに感じてもらおうことを目指す展覧会です。

今年は11月13日(木)～24日(月・休)(17日休館)に、ミュージア川崎4階企画展示室で開催予定です。

主催:公益財団法人川崎市文化財団

Colors かわさき 展より⑮

コトネ KOTONE「竜とお城」 アクリル絵具、ペン

普段からオリジナルキャラクターを描くなど積極的な制作をしています。今回は、自身の独創的なアイデアに生成AIのアドバイスをプラスして、今までにない彼女の世界観を広げることができました。今後が楽しみです。(NPO法人 studio FLAT 大平)



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町28番41号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

https://www.kpal.or.jp E-mail: stage-up@kpal.or.jp



新しい大正琴の音色を求めて 「@絆_雅望(笹子まさえ)」



声楽で鍛えた「歌うような音楽表現」を大正琴に重ねて、新たな可能性を追い求めている人がいます。琴伝流大正琴上級師範の@絆_雅望(まさみ)さんです。

ピアノや声楽を学び、音楽指導にも携わってきた雅望さん。大学時代、テレビ番組の通販コーナーで偶然見かけた大正琴

に心を惹かれたものの、当時は手にする機会がありませんでした。

時を経て平成28(2016)年、友人が大正琴を演奏しているのを見て、眠っていた記憶がよみがえります。翌年、雅望さんが勤務する小黒恵子童謡記念館で新たに教室を開く話が持ち上がったことをきっかけに、「それなら私も習ってみたい」と思い立ち、平成29(2017)年秋、本格的に大正琴を始めました。「やってみたら本当に面白くて」と、大正琴にはまっていったそうです。

「弾きたい！」が学びになる教室

雅望さんは、「絆」という大正琴の演奏グループを立ち上げ、かわさきゆめホールの会議室で毎月第1・第3火曜日の月2回、「雅望の新しい大正琴教室」を開講しています。レッスンは個別対応が中心で、好きな曲を自由に選ぶことができます。生徒のレベルに合わせて、数字譜と五線譜を併記したオリジナルの譜面を雅望さんが作ることもあるそうです。初心者も、経験者も、心地よいペースで学ぶことができるように工夫されています。

中には、お姑さんの大正琴を使って練習を始めた生徒さんもいるのだとか。雅望さんは、「楽器が“つながり”を生むのがうれしいですね」と幸せそうな笑顔で話してくださいました。



子どもたちにも広がる魅力

小黒恵子童謡記念館では、子ども向けの講座も開講。『森のくまさん』『ゲゲゲの鬼太郎』『点描の唄』など、それぞれの“好き”を原動力に、小学2年生から6年生まで、一人ひとりが夢中で練習しています。「難しくても、好きな曲なら頑張れるんです。楽器の演奏を“楽しい”と感じてくれたらうれしいです」と雅望さん。子どもたちは全国コンクールにも挑戦しているとのこと。個人レッスンに切り替えながら、それぞれのペースに寄り添った指導が続けられています。

「楽器としての大正琴」を伝えたい

大正元(1912)年に日本で生まれた大正琴。タイプライターの構造を応用し、押したボタンに対応する音が鳴る仕組みで、誰でも簡単に音を出せるのが魅力です。番号がふられたボタンを押し、ピックで弦を弾くことで演奏します。ソプラノ・アルト・テナー・ベースの4種があり、音程がぶれないので合奏にも向いています。「構造はシンプル。

でも、だからこそ、どう歌わせるかが演奏者に問われる、奥深い楽器なんです」と雅望さん。

近年では、関西を中心に、ジャズやポピュラー音楽と大正琴を組み合わせた演奏を行う若い奏者も登場し、雅望さんは大いに刺激されたそうです。大正琴は「おもちゃの延長」と見られることもあったそうですが、その音色には哀愁と透明感があり、楽器としての表現力も豊かです。クラシック出身の雅望さんは、「クラシックの中で大正琴が楽器として認められるようになってほしい。いずれはオーケストラと協奏できるような作品が生まれるたらー」という夢を持っています。その思いから、自身の演奏活動にも力を入れ、令和5(2023)年からは本格的に演奏活動を開始、SNSでも毎日違う曲目の演奏動画を投稿し続けています(8月31日現在連続600日!)。興味を持たれた方、まずはSNSを覗いてみてくださいね♪



「ひすいのつばさ」

大正琴、合唱、ダンス等の演目があります。

日時: 令和7年11月16日(日)
13時30分~15時30分(開場 13時)

会場: かわさきゆめホール ~入場無料~
JR南武線 向河原駅徒歩6分

■ @絆_大正琴 雅望(笹子まさえ)

電話 090-3147-0058

メールアドレス 2022kizuna@gmail.com



雅望の絆_大正琴



@masae_335



@masae_335



@chakochan3

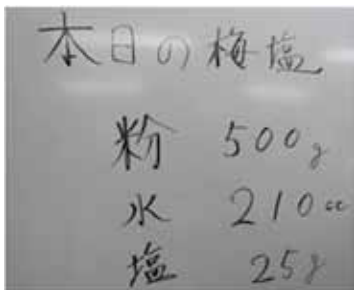
よい塩梅でつなぐ手打ちうどん
「武蔵野手打ちうどん
保存普及会 川崎」



講習会に参加させていただきました！

うどんが風邪をひく

生地に風が当たると水分が蒸発してひび割れてしまいます。このような状態を「うどんが風邪をひく」といい、通常は窓を閉め、エアコンもなし、換気扇も止めてうどん打ちをするそうです。ところが、講習会の当日は真夏日を超え猛暑日を思わせる暑さのため、北條会長のご判断で参加者の安全最優先にエアコンをつけてのうどん打ちとなりました。



本日の塩梅

講習会の最初にホワイトボードに大きく書かれるのが粉・水・塩の量です。必要な水の量は天候や気温などによって違い、水や塩の量は長年の経験で決めています。

気温が高くなると塩分濃度を高くするそうです。「塩分の取りすぎを心配されるかもしれませんが、うどんの塩分は、ゆでているときに大部分がゆで汁に溶けてしまうのですよ」と説明を受けました。

講習開始

鮮やかな技術で実演しながら、細かい解説やコツを教えてくださいましたのは事務局長の村田さん。その横には会長の北條さんが時に微笑まれたり、補足説明したりと和やかに進行します。

実演1【塩水作り～寝かせまで】

- ・地粉に塩梅通りの塩水を回し入れる。
- ・指先や手のひらを使ってまんべんなく混ぜていく。
- ・ある程度粘りが出た段階で一つにまとめていく。
- ・まとめたものをコメ袋で挟み足で踏む。
- ・コメ袋で包み生地を寝かせる。



《生地を寝かしている間に参加者の実習開始》

実習1【財団職員の独り言】

- ・作った塩水をどのくらい入れているの？
- ・「まんべんなく」が難しい！
- ・まとめるのはできました。
- ・踏み方が悪いのか、はみ出そう。
- ・何回踏んだっけ？？

《参加者の生地を寝かしている間に次の実演》

実演2【足踏み～麺切まで】

- ・中央が膨らんだ円形になるように踏む。
- ・麺棒に巻き付けながら生地をのす。
- ・のした生地を屏風たたみにおろす。
- ・幅3～4mmにそろえて麺を切る。

《参加者の生地も十分寝かして次の自習》

実習2【財団職員の独り言】

- ・どれだけ踏んでいいのかなあ？
- ・初めてにしては上手と褒められました！
- ・屏風たたみ？？
- ・切るのは得意です。



持ち帰ったうどんは、野菜とお肉がたっぷり入った温かい汁で頂きました。おいしかったです♪

武蔵野手打ちうどん保存普及会川崎

國學院大学教授で川崎市市民ミュージアム館長でもあった加藤有次先生が武蔵野台地で収穫した小麦粉(地粉)で打った手打ちうどんを「武蔵野手打ちうどん」と名付け、「武蔵野手打ちうどん保存普及会」を発足させました。



その後川崎でも支部設立の機運が高まり、平成13(2001)年11月4日中原市民館にて支部創立総会が開かれ活動が始まりました。支部自立に向けて、平成22(2010)年の10周年を契機に本部より独立し「武蔵野手打ちうどん保存普及会川崎」と名称も変更しました。現在でも年4～5回の手打ちうどん講習会をはじめとして初心者向け講習会、市内小学校や文化団体への講習会などを開催しています。さらに平成24(2012)年からは川崎市麻生区栗木に二反(600坪)の畑を借り「栗木六三四野農園」と名付け、小麦(農林61号)の栽培も開始し現在に至ります。

様々な活動をしている武蔵野手打ちうどん保存普及会川崎に興味をもたれた方は、事務局に問い合わせをしてみてください。現在うどん好きの若い方々の参加募集しているそうです。まずは講習会へ参加し、手打ちうどんを食べるところから始めませんか。

■武蔵野手打ちうどん保存普及会川崎

会長 北條秀衛

事務局 090-1427-7260 (村田芳包)

URL <https://www.musasinoudon-kawasaki.com>



特集 人をつなぎ ともにあゆみ 未来をえかく

公益財団法人 かわさき市民活動センター

市民の活動を支える。子どもの居場所をつくる。
その両方を担っているのが、かわさき市民活動センターです。
市民団体の立ち上げ・運営支援から、こども文化センター(こ文)・
わくわくプラザの運営まで。
川崎の地域と未来を支える、力強い“つなぎ役”です。

市民活動のサポートと、子どもの居場所づくりで つながりから生まれる、誰もが住みやすい地域社会へ

かわさき市民活動センターが目指すのは、子どもも大人も安心して暮らせる
「住みやすい地域社会」の実現。そのために、市民活動の支援(市民活動推進課)
と青少年の育成支援(青少年事業課)という二つの柱を持ち、両輪で地域づくり
を進めています。
一見、別々の事業のように見えるかもしれませんが、こ文の子どもたちが
地域の清掃を行う、SDGsのことを考える、市民活動団体がこ文でワークショ
ップを行う、その団体をセミナーや助
成金でサポートするなど、市民活動と
子どもの居場所はひとつの輪に入って
いるんです！



ごえん楽市 2024 青少年事業課のブース



こぶんた ランニングマン わくりん

かわさき市民活動センターは市民と市民活動が会う場

市民活動推進課では、市民による自発的な活動を支える中間支援を担っています。登録団体はおおよそ900。子育て、高齢者支援、環境、芸術、まちづくりなど、活動分野は多岐にわたります。団体立ち上げの相談から助成金申請、活動の広報まで、ひとつずつ支援しながら伴走していく同課の皆さん。



フリースペースはどなたでも利用できます♪

お利
ま
願
用
ず
い
手
は
受
付
ま
す
を
で



武蔵小杉駅前にある、センター内のフリースペースはリニューアルされ、明るく開かれた雰囲気。個人の勉強や作業、打ち合わせなど、どなたでも無料で利用できます。より多くの市民が立ち寄りやすい場にするため、さらに改良する予定だそうです。

また、市民活動ブース(簡易事務所)やレターケース、会議室の貸し出しなど、活動の拠点としての機能も整備。市民と市民活動が会う場、地域の中で新たな一歩を踏み出す人や団体にとって、情報や仲間、場所が得られる心強い支援拠点となっています。

■市民活動推進課

ボランティア・市民活動・会議室の予約等に関するお問い合わせ
電話 044-430-5566 (9時~21時) (ただし日曜・祝日は9時から17時30分)

こどもたちの居場所から地域のつながりづくりへ

市内それぞれの地域には、乳幼児から高齢者まで誰もが利用できるこども文化センターと、小学生が放課後に利用できる学校内のわくわくプラザがあります。青少年事業課は、こども文化センター41施設、わくわくプラザ77か所を運営しています。

「やはり一番のやりがいは、子どもたちとの本音のコミュニケーションです」と職員の鬼柳さん。学校の先生でも親でもない第三者として、子どもたちが心を開いてくれる瞬間に、大きな手応えを感じるそうです。

「地域の得意な方にけん玉や紙芝居をお願いしたりして、地域資源とつながりながら、子どもたちの体験の幅を広げています」と課長の岩堀さん。人と人をつなぎ、地域と手を取り合いながら、子どもたちを育てる風土が根づいています。

現在、こ文の中だけでなく、地域の祭りやイベントに出店したり、こ文が近くにない地域で行事を催したりして、さらに地域と深くつながるよう、取り組んでいます。

■青少年事業課

こども文化センター・わくわくプラザに関するお問い合わせ
電話 044-430-5603 (平日9時~17時30分)

川崎市内最大の市民活動見本市！今年は67団体が参加します。

ごえん楽市 2025



楽にゃん

日 時：11月15日(土) 10時30分~15時30分
会 場：かわさき市民活動センター、中原市民館 全館、
ららテラス武蔵小杉(施設外部部)
出展団体：67団体

今年は、ららテラス武蔵小杉の周辺にもブースが出ます。
屋内と屋外、両方のブース、スタンプラリーで楽しさ2倍！

開催情報はこちらから↓
https://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/katudo_shirou/rakuichi/2025



昨年も多くの人でにぎわいました



集会室(小杉こども文化センター)



運営協議会主催イベント「ピザづくりの会」
子どもの利用時間以外は大人もこ文の施設が使えます！

■公益財団法人かわさき市民活動センター

〒211-0004 中原区新丸子東3-1100-12
JR南武線・東急線 武蔵小杉駅 徒歩3分
JR横須賀線 武蔵小杉駅 徒歩5分
<https://www.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp>



川崎区

川崎浮世絵ギャラリー～斎藤文夫コレクション～

JR「川崎駅」北改札より徒歩約2分
京急川崎駅より徒歩約2分



庶民の息づかい
が見える
浮世絵の宝庫

「川崎浮世絵ギャラリー～斎藤文夫コレクション～」は、JR川崎駅北口直結というアクセスの良さに加え、ワンコインで、珠玉の浮世絵コレクションを楽しむことができる場所です。公益社団法人川崎・砂子の里資料館が所有する6000点にも及ぶ貴重な浮世絵コレクションを川崎市が無償で借り受け、公益財団法人川崎市文化財団の運営により展示し、公開しています。

斎藤文夫コレクションは、個人による浮世絵収集としては群を抜く規模と内容を誇ります。江戸時代から明治・大正に至るまで、時代を横断した作品群。ジャンルも、風景画、美人画、役者絵、武者絵など、多岐にわたります。斎藤氏のこだわりの一つがシリーズ作品「揃いでの収集」。作品に付随する袋や表紙、付録まで保存されているものもあり、芸術品としてだけでなく歴史資料としても貴重な存在です。

浮世絵が描くのは、政治や宗教ではなく、人々の日常や娯楽、旅、ファッション、グルメといった「庶民の関心事」。日常に焦点を当てた絵から、江戸時代の人々の暮らしや価値観を垣間見ることができます。展示作品に添えられた解説も、当時の人々の生活や楽しみが伝わるよう丁寧に書かれています。

雲母摺(きらずり・キラキラとした光沢を生む加工)や空摺(からずり・凹凸だけで模様を表現する技法)など、書籍やデジタル画像では伝わらない技法面の繊細な工夫は、本物を間近で見ることで初めて分かります。木目を生かした摺りや、物体に立体感を与える陰影表現も、実物の前に立つことでその妙を実感できます。

雨の日でも駅から濡れずに入館でき、気軽に立ち寄れる「川崎浮世絵ギャラリー～斎藤文夫コレクション～」。ぜひ“本物”の浮世絵と出会って、お値段以上の贅沢な時間をお過ごしください。

学芸員と話そう！

～浮世絵の楽しみ方が広がるギャラリートーク～

川崎浮世絵ギャラリーの魅力のひとつが、学芸員との距離の近さ。展覧会にあわせたギャラリートークでは、注目作品の見どころや、館内の解説には書かれていない裏話、制作の舞台裏まで、担当学芸員が熱く語ります。トークのあとには、「こんなこと聞いていいのかな？」という素朴な疑問にも丁寧に応えてくれます。見方を知ると、浮世絵がもっと面白くなります。ギャラリートークは、浮世絵ビギナーもエキスパートも満足すること間違いなしです！

普段の日でも、「学芸員さん、いますか？」と声をかければ、いるときには応えてくれるそうです。その距離感の近さはこのギャラリーならではの。

思いがけない質問をいただく、私たちにとっても学びになり、楽しいです！



展覧会に行ってみよう！！

「明治の浮世絵師 月岡芳年と小林清親」

前期：2025年8月16日(土)～ 9月15日(月・祝)
後期：2025年9月20日(土)～10月26日(日)
※10月13日(月・祝)開館、14日(火)振替休館

「最後の浮世絵師」と称される月岡芳年と小林清親は、明治を代表する浮世絵師です。芳年の「月百姿」「風俗三十二相」「新形三十六怪撰」、清親の「光線画」と呼ばれる風景画、「武蔵百景之内」「日本名勝図会」などを展示します。

「四季とファッション」

前期：2025年11月1日(土)～11月30日(日)
※11月3日(月・祝)開館、4日(火)振替休館
※11月24日(月・休)開館、25日(火)振替休館
後期：2025年12月6日(土)～2026年1月18日(日)
※12月25日(木)～2026年1月5日(月)年末年始休館
※1月12日(月・祝)開館、13日(火)振替休館

春の桜、夏の花火、秋の紅葉、冬の雪景色など、日本人が古くから親しみ愛でてきた四季折々の風物や行事を、江戸・明治期の浮世絵を通じて紹介します。また、季節・天気によるシーン別の着こなしや当時流行の髪型・メイクにも注目します。

■川崎浮世絵ギャラリー～斎藤文夫コレクション～

〒210-0007
川崎区駅前本町 12-1 川崎駅前タワー・リパーク 3階
電話 044-280-9511
開館時間 午前11時～午後6時30分
休館日 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)



入館料 500円

高校生以下、障害者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料



<https://ukiyo-e.gallery>

宮前区

ひがしたかね

県立東高根森林公園

JR「武蔵溝ノ口駅」・東急線「溝の口駅」南口から市営バス【溝 11・15・16・17・18・19 系統】「森林公園前」下車 徒歩約3分



豊かな自然を、より身近に。

県立東高根森林公園は、宮前区の住宅街の中にありながら、弥生時代から古墳時代にかけての集落跡と、かつて関東一帯に広がっていたシラカシ林を今に伝える、緑豊かな県立都市公園です。昭和40年代、宅地開発のさなかに発見された竪穴住居跡と、周囲の自然林の学術的価値が認められ、神奈川県はこの一帯を史跡および天然記念物に指定。文化財を守りながら、誰もが自然とふれあえる場所として整備されたのが、この公園です。

広さ約12ヘクタールの園内には、天然記念物「シラカシ林」や史跡「東高根遺跡(古代芝生広場)」をはじめ、湿生植物園や花木広場、ピクニックエリアなどがあり、のんびり散策するだけで自然や歴史と出会える楽しみがあります。園内は広く、古代芝生広場などへは、入口から徒歩20分ほどかかります。ゆったり歩ける靴で出かけましょう。

東高根森林公園は、季節のイベントも充実しています。詳しいイベント開催情報や、園内の開花情報(今どんな花がどこに咲いているのか一目で分かる「花マップ」)など、パークセンターには公園をより楽しめる情報があります。各種情報はホームページからも確認できます。

穏やかな陽気の秋は、ピクニックや散歩にぴったり。都市の中にありながら、静けさと豊かさを体感できる東高根森林公園。秋のおでかけに、ぜひ足を運んでみてくださいね！



土日は駐車場が混み合うため、公共交通機関のご利用をおすすめします。

古代の人々の暮らしを感じて

古代芝生広場には、3世紀頃から6世紀頃にかけての竪穴住居跡が現在も眠っています。発掘調査では約60軒の竪穴住居跡が確認され、広場全域では約100~150軒の竪穴住居跡があると推定されています。その周囲を囲むのが、樹齢150年以上のシラカシ林。照葉樹林の原風景を残すこの林は、当時の人々が暮らしに必要な資源として守ってきた貴重な自然です。史跡と天然記念物が隣り合うこの場所で、歴史と自然のつながりを体感してみませんか。



古代芝生広場にあるキンモクセイのトンネルは、ふわっと香る、秋だけのごほうび♪芝生の上でのんびり過ごしたあと、香りの小径のお散歩はいかがでしょう。

遊び方、広がる！手ぶらでOK パークスポーツ体験

東高根森林公園では、モルック、ラウンドネット、ラダーボール、ノルディックウォーキングなどのパークスポーツ用品をレンタルできます。広い芝生の上で、家族や友人とちょっと新しい遊びを楽しんでみませんか？ 秋のさわやかな空の下、身体を動かしてリフレッシュ！

- お申し込み パークセンター受付にて
- ご利用時間 午前10時~午後4時
- レンタル価格 1回 300円(税込)



モルックを楽しむ子どもたち

にぎやかに、たのしく！秋の一大イベント

ひがしたかね パーク大作戦

11月23日(日・祝)
参加費：無料(一部有料)

ひがしたかねパーク大作戦は、公園最大のイベント。広場にはマルシェやキッチンカー、クラフト体験のワークショップなどが並び、子どもから大人まで一日中楽しめます。色づく木々の下、秋を満喫しませんか♪



約5千人が来場した昨年の様子

■ 県立東高根森林公園

〒216-0031 宮前区神木本町 2-10-1
パークセンター
受付 午前8時30分~午後5時
電話 044-865-0801
FAX 044-865-0164



<https://higashitakane.com>

生涯学習プラザが リニューアル しました



◀401 大会議室(定員 144 名)



▲明るくなった4階ロビー

◀401 大会議室
机といすを移動して
座学も、運動も♪

生涯学習プラザの会議室やロビーの床が、新しくなりました。

夏の間、お使いいただけない期間がありましたが、古い床材をはがし、新しい物に張り替えていました。新しい床は汚れに強く、明るい色合いです。今までのカーペットタイルに比べて、テーブルや椅子の移動もラクラク。より便利にお使いいただけます。

特に変わったのは、401大会議室です。全面に、運動に適した弾力のある床材を使用し、畳7枚分の大きな鏡も設置しました。今までは、会議や講習等にご利用いただきましたが、それに加えて軽い運動でもお使いいただけるようになりました。テーブルは省スペースの折り畳み式。キャスター付きなので、簡単に移動できます。椅子も軽い物で、10脚まで積み重ねが可能です。30 脚積むことができる椅子移動用の台車もご用意しました。テーブルと椅子を片付ければ、運動できる広いスペースが生まれます。座学の後、「じゃあ、次は実際に動いてみよう」という使い方もできそうですね。

202会議室の床も401と同じく運動用のものにかわりましたので、身体を動かすときも、より快適にお使いいただけます。この部屋には移動できる大きな鏡が4枚ありますので、ぜひご活用ください。



▲3階ロビー



▲301 会議室

◆お楽しみコーナー



Stage Up 255 号クイズに答えよう!

東高根森林公園の園内には
樹齢 150 年以上の天然記念物
○○○○○があります。

下の○にあてはまる言葉を入れてください。

『○○○○○』 ※ヒント p.7

【応募方法】



左記の二次元コードから解答フォームへアクセス、または、①答え ②〒・住所 ③氏名 ④本誌の入手場所 ⑤良かった記事(理由)を書いて、はがき、FAX、Eメールで応募してください。

※締切 2025年11月10日(月) 必着

※正解 ホームページ及び次号に掲載

※正解者3名に500円の図書カードを贈呈
(発表は発送に代えさせていただきます)

〒211-0064 中原区今井南町 28-41

川崎市生涯学習財団 Stage Up (ステージアップ) 担当

Eメール: stage-up@kpal.or.jp

TEL 044-733-5811 FAX 044-739-0085

※個人情報、発送業務以外の目的では使用しません。



☆254号のクイズの答え・・・スカイブリッジ

これからの工事予定

●【受変電設備改修工事】

12月24日～28日 休館
(12月29日～1月4日 年末年始休館)
停電を伴う受変電設備改修工事のため



●【4階空調工事】

R8 2月21日～3月8日 401・402 休室
空調機交換のため



※ 詳細はホームページをご覧ください